



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月29日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田幸司

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役 (氏名) 加納俊男  
コーポレートコミュニケーション室長

TEL 044-861-7627

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	79,661	17.1	716		2,647	54.4	981	73.0
2024年3月期第1四半期	68,004	18.0	666		5,804	0.6	3,631	9.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4,423百万円 (39.2%) 2024年3月期第1四半期 7,271百万円 (25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	9.37	
2024年3月期第1四半期	34.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	267,098	148,885	52.7
2024年3月期	275,634	146,579	50.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 140,708百万円 2024年3月期 138,684百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		18.00		18.00	36.00
2025年3月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	7.4	12,000	108.8	11,000	23.5	6,000	95.6	57.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	109,368,914 株	2024年3月期	109,368,914 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,638,793 株	2024年3月期	4,631,454 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	104,735,014 株	2024年3月期1Q	104,708,112 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT Dnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(収益認識関係) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)におきましては、海外向けおよび国内向け空調機、情報通信システムの売上が増加し、連結売上高は796億6千1百万円(前年同期比17.1%増)となりました。

損益につきましては、増収効果やコストダウンの着実な進展等により、営業利益は7億1千6百万円(前年同期は6億6千6百万円の損失)となりました。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ為替差益が大きく減少したことから、それぞれ26億4千7百万円(前年同期比54.4%減)、9億8千1百万円(同73.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <空調機部門>

空調機部門では、流通在庫適正化のため前年同期の海外向け空調機の出荷水準が低かった反動増や、国内向け空調機の需要立ち上がり早いこともあり、売上高は739億6千5百万円(同19.3%増)となりました。営業利益は、増収効果やコストダウンの着実な進展等により、4億5千7百万円(前年同期は7億8千5百万円の損失)となりました。

##### [海外向け]

売上高は、598億9千4百万円(前年同期比22.4%増)となりました。

米州では、北米において、現地在庫削減に注力し出荷を抑制した前年同期に比べ、ルームエアコンを中心に出荷が回復していることから、売上が増加しました。なお、米国の環境規制強化を見据えた冷媒転換を加速させるため、現行機種種の消化促進の取り組みを強化しております。

欧州では、ルームエアコンの売上は前年同期並みとなりましたが、A T W(ヒートポンプ式温水暖房システム)において、流通在庫が高水準であるほか、需要低迷により販売が大幅に減少し、売上が減少しました。なお、A T Wの流通在庫削減に向け、現地販売代理店とともに消化促進に努めております。

中東・アフリカでは、中東情勢悪化による物流遅延の影響などから、当第1四半期の売上は前年同期を下回りましたが、受注は概ね堅調に推移しており、第2四半期で挽回できる見通しです。

オセアニアでは、ラインアップ拡充の効果等によりルームエアコンの販売が増加するとともに、サービスマンテナンス業務も好調に推移したことから、売上が増加しました。

アジアでは、主力市場のインドにおいて、猛暑の影響で需要が好調に推移するなか、ルームエアコンの販売が増加するとともに、ソリューション案件も堅調に推移したことなどから、売上が増加しました。なお、本年6月に需要の高い冷房専用V R F(ビル用マルチエアコン)を投入し、さらなる販売拡大を図ってまいります。

中華圏では、中国において、ラインアップ拡充の効果によりルームエアコンの販売が増加しましたが、不動産市場の低迷などでV R Fの販売が減少したほか、台湾向けの販売減もあり、売上は前年同期を下回りました。

##### [国内向け]

売上高は、140億7千1百万円(同7.9%増)となりました。

前年度に比べエアコン需要の立ち上がり早まるなか、省エネ性の高い機種を中心に、量販店ルートにおいて需要期に向けた商品供給が進むとともに、住宅設備ルート向けの販売も堅調に推移し、売上が増加しました。なお、高級機種から普及機種まで全機種に「熱交換器加熱除菌」をはじめとした清潔機能を搭載するなど、当社製品独自の優れた清潔性について、店頭での販促に加え、テレビCMやSNS等を通じた訴求強化に取り組んでおります。

#### <情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、電子デバイスの販売減により、売上高は49億9千8百万円(同7.4%減)となりましたが、情報通信システムの増収効果に加え、部門全体での費用効率化により、営業利益は8千4百万円(前年同期は6千1百万円の損失)となりました。

〔情報通信システム〕

売上高は、29億8千4百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

公共システムにおいて、消防の広域化・共同運用事業の本格化や、防災・減災対応のインフラ整備事業に対する補助政策を背景に、消防指令システムおよび消防無線システムを中心に商談案件数が増加しているなか、受注済みシステムの納入が順調に進展し、売上が増加しました。

〔電子デバイス〕

売上高は、20億1千4百万円（同31.4%減）となりました。

車載カメラの販売が前年同期を下回ったほか、産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、中国における設備投資の停滞で販売が減少したことから、売上が減少しました。

<その他部門>

売上高は6億9千6百万円（同12.3%増）、営業利益は1億7千4百万円（同3.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（以下、当第1四半期末）の総資産につきましては、棚卸資産の増加等はありませんでしたが、売上債権の回収が進んだことから受取手形、売掛金及び契約資産の減少により、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）85億3千5百万円減少し、2,670億9千8百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等はありませんでしたが、独禁法関連引当金の減少ならびに借入金の圧縮等により、前年度末比108億4千1百万円減少し、1,182億1千3百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの配当金の支払に伴い利益剰余金は減少しましたが、為替換算調整勘定などの増加により、前年度末比23億6百万円増加し、1,488億8千5百万円となりました。

この結果、当第1四半期末の自己資本比率は2.4%増加し、52.7%（前連結会計年度末は50.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業キャッシュ・フローにつきましては、売上債権の回収による運転資本の改善ならびに税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上などにより、176億9百万円の収入（前年同期は23億2千9百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備およびIT関連への投資などにより、24億8千1百万円の支出（同58億1百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは151億2千8百万円の収入（同34億7千2百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、金融機関への借入金返済および配当金の支払を行ったことなどにより、119億8千2百万円の支出（同31億1千3百万円の収入）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比39億3千7百万円増加し、236億5千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年4月25日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,715	23,652
受取手形、売掛金及び契約資産	99,397	78,204
商品及び製品	34,379	40,180
仕掛品	1,891	2,537
原材料及び貯蔵品	19,616	19,943
その他	12,036	12,465
貸倒引当金	△704	△747
流動資産合計	186,332	176,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,127	41,160
機械装置及び運搬具	52,852	55,034
工具、器具及び備品	41,072	43,257
土地	8,900	8,900
建設仮勘定	1,137	1,415
減価償却累計額	△96,692	△101,852
有形固定資産合計	47,397	47,916
無形固定資産		
のれん	7,540	7,938
ソフトウェア	15,762	15,968
その他	4,440	4,615
無形固定資産合計	27,743	28,522
投資その他の資産		
投資有価証券	3,179	3,320
繰延税金資産	8,907	9,149
その他	2,084	1,961
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	14,162	14,422
固定資産合計	89,302	90,861
資産合計	275,634	267,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,362	49,525
短期借入金	13,377	4,011
未払法人税等	1,340	1,745
未払費用	17,782	18,335
製品保証引当金	5,465	5,702
海外事業等再編引当金	2,869	3,040
独禁法関連引当金	7,270	4,418
その他	15,631	13,519
流動負債合計	110,100	100,298
固定負債		
長期借入金	195	178
再評価に係る繰延税金負債	2,365	2,365
退職給付に係る負債	11,120	11,071
その他	5,273	4,299
固定負債合計	18,954	17,914
負債合計	129,054	118,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,219	18,219
資本剰余金	130	130
利益剰余金	109,302	108,398
自己株式	△5,024	△5,024
株主資本合計	122,628	121,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	915	967
土地再評価差額金	4,759	4,759
為替換算調整勘定	10,513	13,380
退職給付に係る調整累計額	△131	△123
その他の包括利益累計額合計	16,055	18,983
非支配株主持分	7,895	8,177
純資産合計	146,579	148,885
負債純資産合計	275,634	267,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	68,004	79,661
売上原価	52,551	61,031
売上総利益	15,453	18,629
販売費及び一般管理費	16,119	17,912
営業利益又は営業損失(△)	△666	716
営業外収益		
受取利息	54	79
受取配当金	150	142
有価証券売却益	98	—
持分法による投資利益	39	33
為替差益	6,365	2,148
その他	133	179
営業外収益合計	6,841	2,582
営業外費用		
支払利息	62	37
事業構造改善費用	133	369
独禁法関連損失	79	—
その他	96	245
営業外費用合計	370	652
経常利益	5,804	2,647
特別利益		
段階取得に係る差益	※ 162	—
特別利益合計	162	—
税金等調整前四半期純利益	5,966	2,647
法人税、住民税及び事業税	1,823	1,507
法人税等調整額	208	△78
法人税等合計	2,031	1,428
四半期純利益	3,934	1,218
非支配株主に帰属する四半期純利益	303	236
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,631	981

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,934	1,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	52
為替換算調整勘定	3,209	3,134
退職給付に係る調整額	8	8
持分法適用会社に対する持分相当額	86	10
その他の包括利益合計	3,336	3,205
四半期包括利益	7,271	4,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,731	3,909
非支配株主に係る四半期包括利益	539	514

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,966	2,647
減価償却費	1,945	2,294
のれん償却額	72	133
段階取得に係る差損益(△は益)	△162	—
引当金の増減額(△は減少)	△119	△2,917
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	△109
受取利息及び受取配当金	△204	△222
支払利息	62	37
売上債権の増減額(△は増加)	21,979	26,475
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,762	△3,836
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,051	△3,141
その他	△4,354	△1,984
小計	3,386	19,378
利息及び配当金の受取額	206	222
利息の支払額	△55	△36
法人税等の支払額	△1,207	△1,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,329	17,609
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,045	△1,404
有形固定資産の売却による収入	2	4
無形固定資産の取得による支出	△1,499	△1,042
投資有価証券の売却による収入	111	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,338	—
その他	△32	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,801	△2,481
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,445	△9,464
長期借入金の返済による支出	△16	△32
配当金の支払額	△1,756	△1,859
その他	△559	△626
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,113	△11,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	791	791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	433	3,937
現金及び現金同等物の期首残高	17,391	19,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,824	23,652

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 段階取得に係る差益

Fujitsu General South East Europe S.A.の株式を追加取得したことに伴い発生したものであります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,986	5,397	67,384	620	68,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	399	399	92	491
計	61,986	5,796	67,783	712	68,496
セグメント利益又は損失(△)	△785	△61	△847	181	△666

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△847
「その他」の区分の利益	181
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△666

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(のれんの金額の重要な変動)

「空調機」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より、Kløver Vest Holding AS及びFujitsu General South East Europe S.A.を子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において3,552百万円であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,965	4,998	78,964	696	79,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	392	392	87	480
計	73,965	5,391	79,357	784	80,141
セグメント利益	457	84	541	174	716

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	541
「その他」の区分の利益	174
四半期連結損益計算書の営業利益	716

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

当社グループは、売上高を顧客の所在地を基礎とした国又は地域に分解しております。  
分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	13,041	5,122	18,163	620	18,784
米州	7,063	—	7,063	—	7,063
欧州	17,113	30	17,144	—	17,144
中東・アフリカ	3,891	—	3,891	—	3,891
オセアニア	6,991	—	6,991	—	6,991
アジア	10,184	75	10,260	—	10,260
中華圏	3,699	168	3,868	—	3,868
外部顧客への売上高	61,986	5,397	67,384	620	68,004

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	14,071	4,863	18,935	696	19,632
米州	12,343	—	12,343	—	12,343
欧州	14,554	23	14,578	—	14,578
中東・アフリカ	3,428	—	3,428	—	3,428
オセアニア	9,565	—	9,565	—	9,565
アジア	16,438	39	16,477	—	16,477
中華圏	3,564	71	3,636	—	3,636
外部顧客への売上高	73,965	4,998	78,964	696	79,661

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。